

jQueryセレクトーオブティマイザー

jQueryは、エッジケースにのみ使用する必要があります

jQueryはできるだけ使用しないようにすることをお勧めします。 ウェブアプリケーションは絶えず変化しておりUIとページ構造への小さな更新は、使用されるjQueryを破壊する可能性があります。

WalkMeは、すぐに使用できるエレメント選択で、jQueryを使用せずに、基盤となるアプリケーションの変更に対応します。

概要

ほとんどのWalkMeアイテムではjQueryセレクトーを自由に入力してエレメントを選択できます。 jQueryライブラリはかなり前から存在していましたが、その構文とセレクトーの書き方は時間の経過とともに変化してきました。

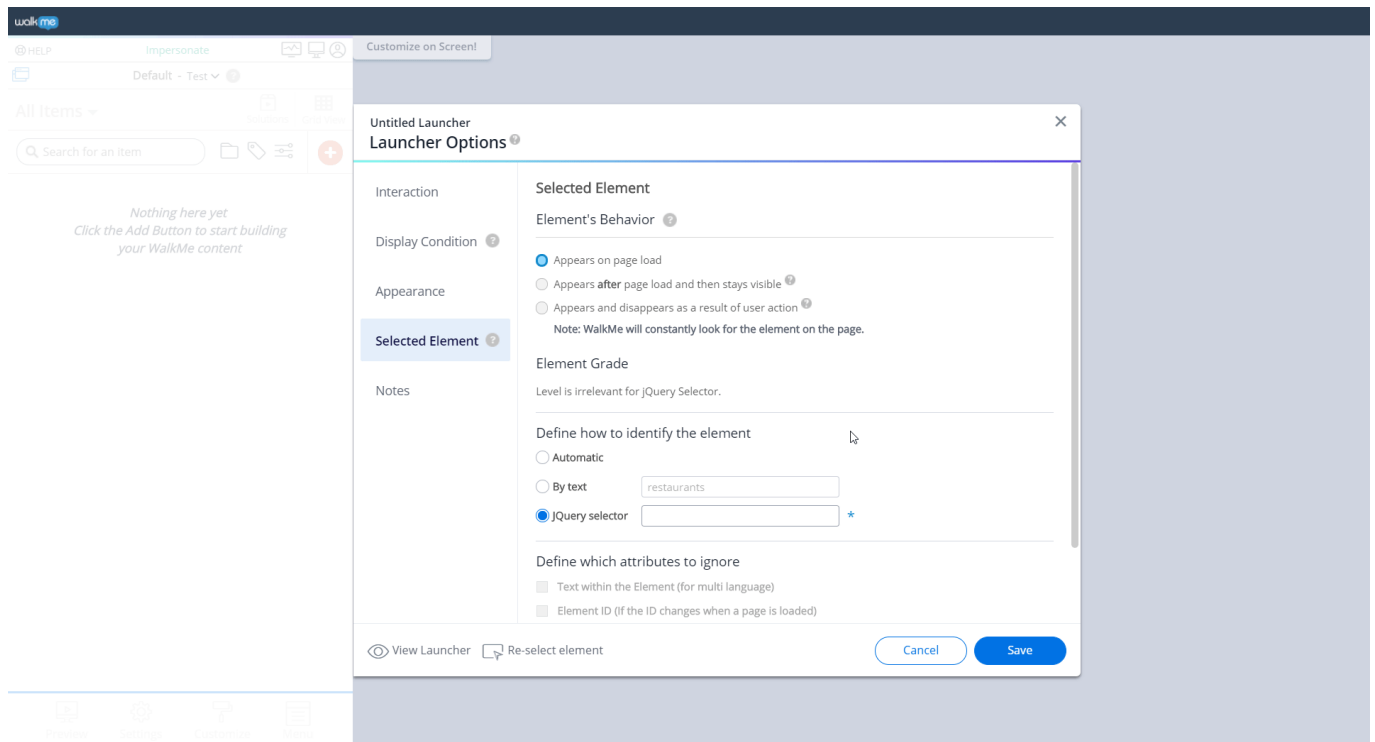
最新の構文に慣れていないユーザーにとっては、昔ながらのjQueryセレクトーの書き方を使用している場合、評価時間が長くなってしまうこともあります。 これが問題になるのは、ユーザーが昔ながらのセレクトーでコンテンツを多く持っている場合です。

WalkMeのページ上でのエレメント探しのパフォーマンスを向上させ、より効率的なセレクトーの書き方ができるようにしたいと考えています。

「**jQueryオブティマイザー**」は、書いた特定のセレクトーを、より高速に評価できる最新の構文で書き換えることができるかどうかを検出します。 その際には、変更を手動で元に戻すオプションを残したまま、最適化されたセレクトーでフィールドの値を自動的に更新します。

jQueryチートシート

jQueryのヒントと例については、[jQueryチートシート](#)を参照してください



使用方法

この機能は、特定のデプロイ可能アイテムの設定内で、「要素を識別する方法を定義する」オプションがあるデプロイ可能アイテムに対して、自動的に利用可能となります：

Define how to identify the element

- ☐ Automatic
☐ By text
☒ JQuery selector 

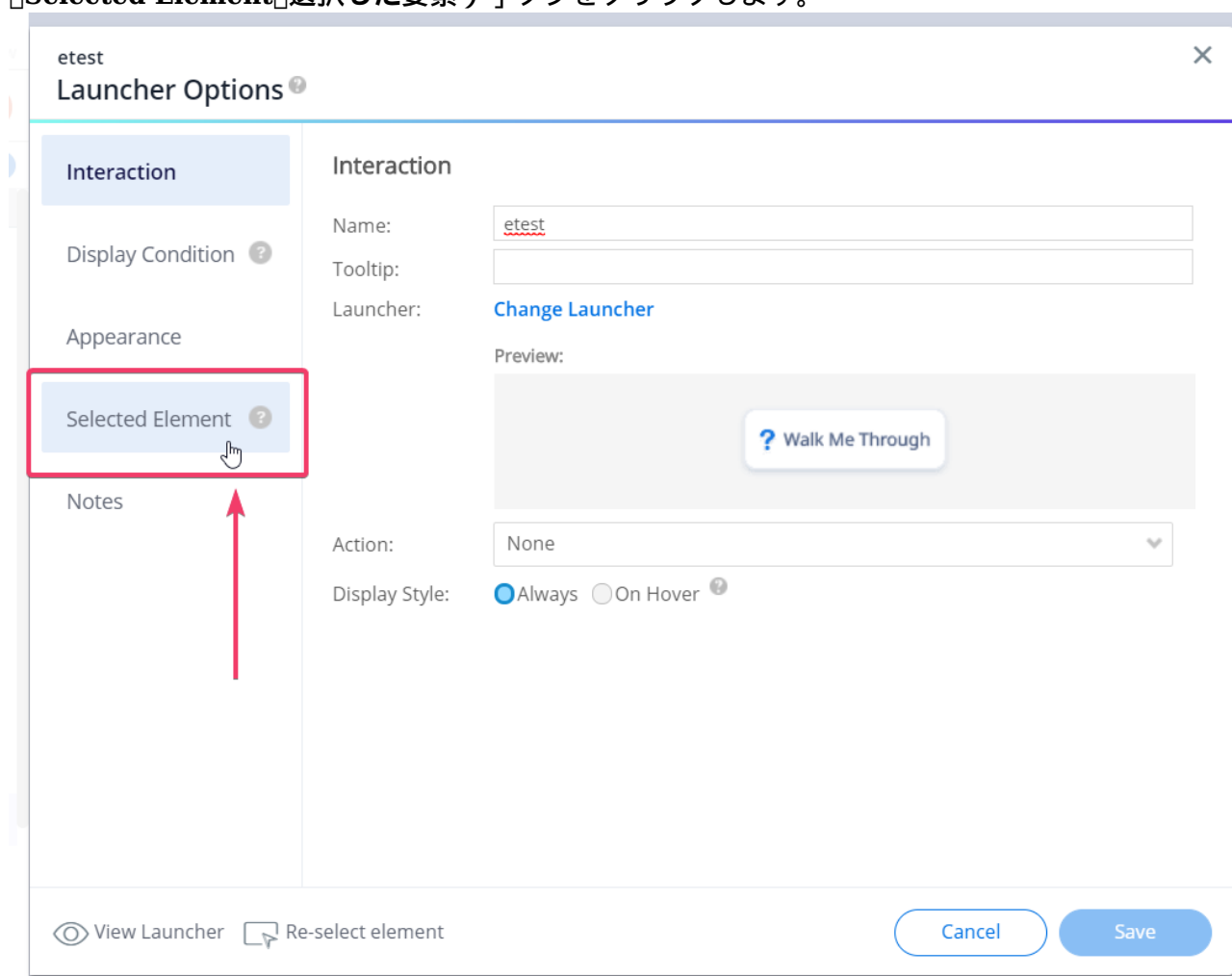
最適化の例

最適化前	最適化後
[class="foo"]	.foo
[class="foo bar"]	.foo.bar
[id="foo"]	#foo

<code>[class="foo bar"] [id="foo"]</code>	<code>.foo #bar</code>
<code>[class="foo"].bar:not([class="foo-bar"])</code>	<code>.foo.bar:not(.foo-bar)</code>
<code>[class="foo"][class="bar"]:not([class="foo-bar"])</code>	<code>.foo.bar:not(.foo-bar)</code>

JQueryオプティマイザーの使用手順

1. 選択した要素があるいずれかのデプロイ可能アイテムを開きます
2. 「Selected Element」(選択した要素) タブをクリックします。



3. 「Define how to identify the element」(要素を識別する方法を定義) セクションの「jQuery selector」(jQueryセレクトター) を選択します。

Selected Element ?

Notes

☒ Appears and disappears as a result of user action 

Note: WalkMe will constantly look for the element on the page.

Element Grade

Level is irrelevant for jQuery Selector.

Define how to identify the element

☐ Automatic

☐ By text

☒ jQuery selector
 *

4. たとえば `[[class="foo bar"]]` という昔ながらの方法で書かれた値を入力し、入力フィールドの外をクリックします

Selected Element ?

Notes

Define how to identify the element

☐ Automatic

☐ By text

☒ jQuery selector
 *

5. セレクターが最適化されていく魔法をご覧ください。